

認知症の症状

脳の細胞が壊れることによって直接起こる「**中核症状**」は治りにくいものですが、心の状態や性格、環境などが影響して起こる二次的な「**行動・心理症状**」は、適切な治療やケア、周囲の対応で改善が期待できます。



脳細胞の障害

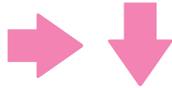


中核症状（認知症の中心となる症状）

- ◇記憶障害：新しいことが覚えられない、思いだせない
- ◇見当識障害：日時や場所、人間関係などが分からなくなる
- ◇理解判断力の障害：考えるスピードが遅くなる
- ◇実行機能障害：段取りを立てて行動できない 等

治りにくい

本人のもともとの性格や素質



生活環境や人間関係など

行動・心理症状（心の状態や性格、環境によって出る症状）

- 不安・焦燥
- うつ状態
- 幻覚・妄想
- 介護抵抗
- 攻撃的な言動
- 歩きまわる
- その他

改善が期待できる



認知症の誤解③

Q. 認知症の人は理由もなく怒る・暴れる!?

A. 中核症状からの不安や、自分への憤りの裏返し of 言動である可能性があります。周囲の適切な対応や配慮で、改善が期待できます。

早期発見の目安 ◆こんな症状はありませんか?◆

このチェックシートは「公益社団法人認知症の人と家族の会」の会員の経験からまとめた早期発見の目安です。日常の暮らしの中でいくつか思い当たることがあれば、一度かかりつけ医などに相談してみるとよいでしょう。

●物の忘れがひどい

- 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- 同じことを何度も言う・問う・する
- しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う

●判断・理解力が衰える

- 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- 新しいことが覚えられない
- 話のつじつまが合わない
- テレビ番組の内容が理解できなくなった

●時間・場所がわからない

- 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 慣れた道でも迷うことがある

●人柄が変わる

- ささいなことで怒りっぽくなった
- 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- 自分の失敗を人のせいにする
- 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

●不安感が強い

- ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- 外出時、持ち物を何度も確かめる
- 「頭が変になった」と本人が訴える

●意欲がなくなる

- 下着を替えず、身だしなみをかまわなくなった
- 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- ふさぎ込んで何をするのも億劫がり、いやがる